

物流改善で売上UP！第3回

～物流委託の料金表比較について～

EC事業を行う上で、物流に掛かる費用は概ね売上の1割と言われています。どのEC事業者様も、日々コスト削減・利益率向上を目指していると思います。今回は、物流費の適正化を検討されているEC事業者様に、物流委託を検討される際に必ず悩まれる、物流会社の「料金表の比較」について、比較ポイントをお伝えしたいと思います。何かヒントになれば幸いです。

【物流業務の料金とは？】

物流に関する業務の料金とは、それぞれの作業に掛かるコスト（人件費、配送費など）から算出される、言うてみれば「手間賃」のことです。自社倉庫を運営されておられる場合には、概ね保管料や入出荷作業で必要なコスト計算はすでにされていることと思います。

物流会社が業務のコストを適正化

する為には、EC事業者様からどのような業務を求められているかを見極める必要があります。この時点で、もし認識がずれたままお取引を開始してしまつと、お互いがハッピーになれるパートナーシップを築くことが難しくなります。

仮に、EC事業者様が業務の詳細について曖昧に説明してしまつと、物流会社はリスクを考え、少し高めの料金設定をすることがあります。結果、以前よりコストアップしてしまつということも考えられます。まず、必要な情報はできるだけ開示しましょう。

また、物流会社各社で料金表の項目が異なる為、なかなか比較検討しづらいという現状があることも事実です。物流委託の料金表では、大きく分けると、入荷・保管・出荷の3項目があります。それぞれの項目に存在する付帯作業によって、更に細分化され、料金表の根拠となる手間賃が計算されます。

【なぜ物流委託の検討をしているか】

EC事業者様から物流委託に関するお問い合わせを受けた際、まずお伺いすることは、「なぜ、物流委託の検討をするようになったのか」ということです。

いくつかのパターンはあるものの、大きく分類すると「自社では対応できなくなった」という出荷増に対するお問い合わせと、「現委託先からの物流会社切り替え」という、お悩み相談に近いお問い合わせの二つに分かれます。

前者の「自社では対応できなくなった」というお問い合わせの場合、共通して「委託」が初めてであること、数社に問い合わせ御見積りをもらったものの、その項目が様々で比較しづらいという内容が多く寄せられます。

後者の「現委託先からの物流会社切り替え」というお問い合わせの場合、その経緯は、出荷ミスやその事後対応への不満、値上げ交渉をされた、担当者が変更になった等、往々にして信頼関係の欠如を懸念され、